

【憲法】

問題 次の事例を読み、設問に答えなさい。

Y（男性）はA新聞政治部記者で、B省を担当している。またYは、B省大臣秘書官であるC（女性）と親交がある。B省関係でD国との間で不明朗な外交密約があるとの疑いを抱いたYは、この疑いに関する内部文書に接しうるCに対して、情報提供を求め、説得を続けた。

はじめCは情報提供を拒んでいた。しかしYはある日の夕、Cと酒食をともにしたうえ、かなり強引に肉体関係をもち、その直後、B省の内部文書の持ち出しを懇願し、Cの一応の承諾を得、さらに電話でその決断を促し、その後もCとの肉体関係を継続して、CがYからの依頼を拒みがたい心理状態になったのに乗じ、数回にわたってB省関係の内部文書の持ち出しをさせた。

なお、Yはこのようにして取得した文書を衆議院議員Eに渡し、衆議院内でEによりその内容が暴露された。

Cは、国家公務員法100条1項の定める秘密保持義務に違反したとして同法109条12号により、またYは、この秘密漏洩をそそのかしたとして同法111条により、それぞれ起訴された。

設問1

Yの刑事責任について、どう考えたらよいであろうか。あなた自身の考察を述べなさい。

設問2

仮にYが、B省担当のA新聞政治部記者ではなく、弁護士で市民運動を熱心に行っている者であった場合、Yの刑事責任について、どう考えたらよいであろうか。

※ なお、解答用紙の記入に際しては、設問1、設問2の順番で、かつ、〔設問1〕、〔設問2〕と見出しをつけて記入しなさい。